

令和7年度札幌市埋蔵文化財センター企画展

札幌の大昔の暮らしと食べ物

～魚を捕る～



大昔の札幌には、自然のなかで食料をとって暮らす人々がいました。人々は森や野原で陸の動物を狩り、植物を採り、川や海で魚を捕り、海の動物を狩って日々の食料を得ていました。札幌の遺跡からは、人々が食料を得るために作った道具、食料となった動物や魚の骨、植物の殻や種がたくさん出土します。

今回の企画展では川や海での漁労にスポットをあて、遺跡から出土した魚の骨や歯、貝の殻、魚を捕るのに使われた道具などを展示するとともに、魚を捕るための様々な仕掛けと漁法をパネルで紹介します。

会場：埋蔵文化財展示室企画展コーナー（札幌市埋蔵文化財センター内）
（札幌市中央区南22条西13丁目）

期間：令和7(2025)年12月5日(金)～令和8(2026)年4月12日(日)

休館日：令和7(2025)年12月29日～31日、
令和8(2026)年1月1日～3日・12日、2月11日・23日、3月20日
開館時間：午前8時45分～午後5時15分まで

主催：札幌市埋蔵文化財センター
問合せ：011-512-5430

SAPP
ORO

入場
無料



04-D05-25-2287
R7-4-438